

● 第5・第6ブロック合同運動会開催

平成28年10月23日(日)中神小学校の校庭で開催されました。当日は秋晴れに恵まれ、老若男女すがすがしい空気の中、思う存分に体を動かし、たくさんの賞品を手にして、楽しい一日でした。今年は自治会対抗競技において、順位が目まぐるしく入れ替わる展開、こういう状況になってくると、いずれのチームにも優勝のチ

ャンスがあり、最後の対抗競技は盛り上がりの頂点に達しました。最終の年代別リレーの1位、親和自治会が優勝の歓喜に沸きたち、フィナーレとなりました。以下、準優勝 交友自治会、3位 始自治会でした。裏方で運動会を支えて下さった実行委員の皆様・協力頂いた方々のご尽力に心から感謝申し上げます。(取材広報部会 / 幡垣 誠)



▲リレーアンカー接戦の3位争い
始自治会・交友自治会

▲白熱のバトンリレー

● 子どもの主張意見文コンクール優秀作品を紹介

平成28年度、第34回子どもの主張意見文コンクールにおいて、中神小学校6年生が受賞されました。お祝いの記念として、今回意見文を掲載させていただきます。地域の皆さん、この子供の主張意見文をご覧になって下さい。(市民会議会員一同)

最優秀賞

文字より口で話そうよ

中神小学校 六年 松本 真優

最近、小学生からけいたい電話を使う人が多くなってきています。

私もけいたい電話を使っています。その中で困ったことがいくつかあります。それはメールやラインで相手がどういう思いでそのメッセージを送ってきたのかよくわからなくなって心配になってしまうということです。

私は、そういう時には、本当は相手がどう思っているのか聞きたくなります。

でも相手に聞けなかったり聞けなかったりすることもあります。

なぜなら、その答えが必ずしも自分にとって良い答えばかりではないと想像し、怖いと思うからです。メールなどの文字は、1文字だけでごかいをまねいてしまうこともあります。

たとえば「!」や「?」や絵文字などの使い方です。このようなものを使わずに文章を送ると冷たい印象やおこっているような印象をあたえたりしてしまいます。その結果、送った人も受け取った相手も、友人関係をこわしてしまったり、なやんだ思いをかかえたままになってしまったりします。それではおたがいがつらい思いをすることになってしまいます。

メールだと、「はずかしくない」「簡単に速く送れるからいい」と思う人もいるかもしれませんが。

たとえそうだとでも直接言葉で伝えるからこそ、伝わっていくものもあると思います。それに、言葉なら声の高さや口調などで伝わることや表情で伝わるものもあります。今、楽しい気持ちなのか、おこりた気持ちなのか、真剣な気持ちなのか。直接、実際に顔を見て、話をするので、気持ちもスッキリするし、相手に直接伝えたことで安心することもあるのです。その方が、思いも伝わりやすいし、後からモヤモヤする気持ちももたずにすむと思います。

だから私は、相手に本気で大切なことを伝えたい時は、メールやラインよりも言葉で伝えた方がいいと考えました。

実際に私の経験で、5年生の時、漢字検定で合格し、メールで伝えても良いことでしたが、母の顔を見て伝えたかったので、家に帰って、直接、「合格したよ」と伝えたところ、笑顔で、「良かったね」と言ってもらえ、母の表情から気持ちが伝わり、とてもうれしい気持ちになりました。これからは、「本気で大切なことを伝えたい時は、直接、気持ちをこめて伝える。」ということ大切に考えて行動していきたいと思っています。

けいたい電話やスマホを持っている人も、そうでない人も、直接顔を見て、自分の思いや考えを伝えていくことを大切に、少しでも多くの方が、文字より口で話し伝えることで、よりよい人間関係を築いていくことを、私は願っています。